

# 決算の討論から 2010年度の予算の使い道は 建物耐震化やくらし応援で不十分



討論に立つ横山区議

10月12日、第3回定例会が閉会。横山区議が行った決算認定に反対討論を中心に2010年度決算審議、東日本大震災、原発事故にどう向き合うのか、防災福祉まちづくりなど区政の課題を順次お知らせします。

## 荒川区 耐震補強工事など補助事業の実績

	2008年	2009年	2010年	2011年	
予算	60,450	53,355	44,038	42,900	(千円)
耐震診断	29	28	34	?	(件)
耐震設計	4	4	2	?	(件)
耐震工事	3	2	1	?	(件)
建て替え	1	6	10	?	(件)
シェルター	0	0	0	?	(件)

## 区の2010年度決算は…くらしの大変さも

当初予算は、817億円、決算＝歳入829億円、歳出804億円、決算剰余金約24億6千万円決算年度末の区債残高は、200億円、基金残高264億円  
特別区民税 人口増加、収入率微増で5億5千万円減  
経常収支比率 85%（前年度79%） まだ余力も  
経常収支が高くなると自由に使えるお金が少なくなる。今回5%程度引き上がったのは、生活保護費など扶助費の増加。いずれもくらしの大変さが…！

区議団は、代表質問で「木造密集地域の耐震支援強化」「マンションの備蓄、横揺れ対策」「家具転倒防止支援」など求めました。残念ながら当初予算に反映されませんでした。耐震補強工事補助などは、実績見合いで予算が減らされてきました（下表参照）。耐震化が進まない原因は、木造密集地域の高齢化、資



**耐震化など防災まちづくりは最重要課題… 命を守る自治体の役割は発揮されているか**

2010年2月、共産党

区議団は、代表質問で「木造密集地域の耐震支援強化」「マンションの備蓄、横揺れ対策」「家具転倒防止支援」など求めました。残念ながら当初予算に反映されませんでした。耐震補強工事補助などは、実績見合いで予算が減らされてきました（下表参照）。耐震化が進まない原因は、木造密集地域の高齢化、資

力が無く耐震補強も建て替え、住み替えも出来ない場合が多いのです。公的住宅が少ないことも改善を遅らせています。命の危険があります。

とわかっていながら「住宅は自己責任」として放置してよいのでしょうか。住宅は私的財産であるとともに、町を構成する公共財でもあります。

やはり進まない障壁を取り除くために全力を挙げてこそ自治体の責任が果たせるのではないのでしょうか。

裏面 区議会報告  
放射線測定問題など...

## 定例法律相談

11月7日(月)  
午後6時～8時

横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。

生活相談は、随時受け付けています。

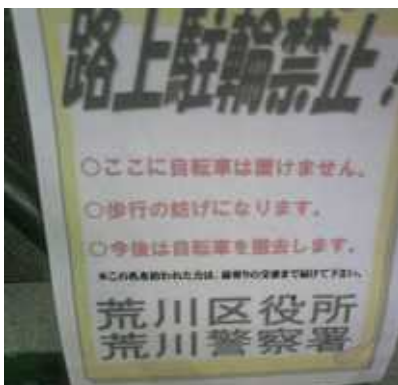
TEL&FAX 3895-0504

不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区役所控室 3802-4627



**町屋駅前の「放置自転車」対策の行方は…**  
マナーの改善と急がれる京成高架下の駐車場整備  
いま町屋駅では、早朝から警察区役所の職員が出動して、放置自転車対策を行っています。私は、火曜と金曜、町屋駅で7時～8時に宣伝を行っています。いつの頃からか交番にのぼりや駐輪禁止の警告札（左）を持った方が交番に集まり駅周辺に散っていきうづなりました。聞いてみると新任の警察署長が町屋駅前の放置自転車があまりにもひどいというので、区と協力して対策をはじめたようです。確かに、町屋駅前の放



置自転車は、安全上も大問題です。議会でもマナーの啓発からきびしい罰則論まで様々議論があります。しかし高齢者の方など自転車があるから移動できる方も少なくありません。根本的な解決のためには、やはり自転車駐車場の整備が必須条件です。京成高架下の駐車場設置は、はじめ鉄道事業者などの協力が不可欠です。  
横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

441

2011年10月16日

発行 日本共産党区議団

3802-4627

fax3806-9246

✉ arajcp@tcn-cat

v.ne.jp

町屋相談室

荒川区町屋5-3-5

3895-0504

✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページをご覧ください。  
「横山幸次区議」で検索して下さい。

## 区議会情報…



足立区の「サポートステーション」(上)と実施事業の一部(下)



# 共産党区議団の提案が議会動かし 来年度から区に「就労支援課」が…

今回の第三回定例会で自民党が、本会議質問と決算特別委員会で就労支援を専門に行う課を設置するよう求める質問を行いました。

若者をはじめ雇用情勢は、きわめてきびしい状況が続いています。共産党区議団は、23区ではじめて就労支援課を設置した足立区の視察や調査も行い、荒川区でも担当課を設置することを求めています。2006年9月には、「若者サポートステーション」の設置を求め、2010年9月には「就労支援課」の設置など求めてきました。このときには、ジョブコーナー町屋で就労支援を行っており「課」は必要ないと答弁しました。

区は、来年4月から就労支援課を設置すると答弁しました。雇用問題が大きな社会問題となっている中で区の役割発揮が求められており、議会の一致した要望になりました。足立区は区役所内の担当課設置と合わせて、引きこもりなどの対策も含め総合的な施策をすすめています。今後の荒川区の取り組みが期待されます。

**学びなおし、就労準備セミナーから引きこもり対策まで  
荒川区でも「若者サポートステーション」の設置で実施を**

## 世田谷区、横浜市で高い放射線量を測定 確認のため区として直ちに放射線測定を

世田谷区で2.7マイクロシーベルト/時、年間14ミリシーベルトという高い放射線量が測定されました。また横浜市では、セシウムに続いて放射性ストロンチウムが検出されたと報道されています。国が実施した上空からの観測では、問題のない地域となっていたところです。いずれも心配した住民が測定し自治体に申し出たものです。世田谷区では、申し出を受けて測定、除染など対策に乗り出し、緊急に公園などの測定もはじめました。

区が様々な場面で協力を仰いでいる、首都大学の福土政広教授もテレビ報道番組のコメントで「ピンポイントのホットスポットが他にもいっぱい存在する可能性がある」としてきめ細かい測定の必要性を述べておられます。

ましてやホットスポットがたくさん見られる東部地域に位置する荒川区です。ただちに測定を実施すべきです。

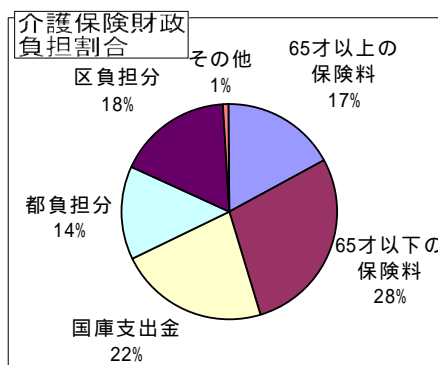


テレビでコメントする福土教授と各社の報道

## 足立区が来期の介護保険料… 「暫定算定額5,640円」打ち出す

9月12日、足立区の地域保健推進協議会専門部会が開かれ、来年4月から3年間の介護保険料について、基準月額を現在の4,380円から5,640円に1,260円(27・4%)引き上げる「暫定算定額」が示されました。今後公聴会などが実施され、足立区議会で議論されます。約3割近い値上げに「この負担増はたいへん」との声があがっています。

荒川区は、いまでも23区で一番高い保険料です。単純に足立区で算定した上げ幅を当てはめると6,000円台という額に。荒川区の第5期介護保険計画案の提案は、11月以降の予定です。国の負担を引き上げるなど大本



の対策が必要です。同時に、区としての保険料抑制策など今後求めていく必要があります。